



Ken Okuyama CARS Kode 0 ペブルビーチ・コンクールデレガンスの特別カテゴリーに招待

Ken Okuyama CARS (本社: 山形県 / 代表: 奥山清行) のワンオフカー Kode 0(コードゼロ) が 2024 年 8 月 18 日に北米モントレイで開催される第 73 回ペブルビーチ・コンクールデレガンスの「ウェッジシェイプ・コンセプトカー&プロトタイプクラス」に招待され、展示されます。



当カテゴリーはコンクールデレガンスのコミッティにより設定された、初めての試みであり、カーデザイン史において重要な役割を果たすウェッジシェイプ(くさび形)をフューチャーした歴史に残るコンセプトカー、プロトタイプにスポットを当てるものです。

世界最高峰のコンクールデレガンスであるペブルビーチ・コンクールデレガンスの美しいグリーンに世界から選ばれた歴代の名車とともに、日本車がペブルビーチ・コンクールデレガンスにノミネートされるのはトヨタ 2000GT に続いて歴代 2 台目となります。

コンクールデレガンスにおいてはコンセプトローンが

未来のクラシックになり得る最新のコンセプトカーを展示する舞台として存在します。そんな中で本会場たるコンクールデレガンスエリアに時代を超えたクラシックとして Kode0 がノミネートされたのは画期的な事です。

Kode 0 は 2017 年に発表され、大きな話題を呼びました。そのユニークなスタイリングのコンセプトは、1969~1970 年に登場したランチア・ストラトスゼロ、ランボルギーニ・カウンタック、フェラーリ・モデューロといった皆が夢見たドリームカーを現代のテクノロジーで蘇らせることにあります。「50 年代後半から 70 年代前半まで。さらに細かく言えば、カロツェリア発コンセプトカーの全盛期である 1963 年から 1973 年のオイルショックまでの 10 年間で、自動車デザインの未来を築いた重要な時期です。ウェッジシェイプは空力の最適化や新素材開発から誕生し、現代に続く画期的なデザインであると、そのモチーフを現代の技術で表現したのが Kode0 なのです。」

(奥山清行 Ken Okuyama CARS)

Kode 0 はカーボンファイバー・モノコックをベースにハイパワー V12 NA エンジンミッドマウントした基本ストラクチャを持ちます。カーボンファイバー製コンポーネントを多用した 1,550kg の軽量ボディと 700ps を発揮するハイパフォーマンスエンジンとのコンビネーションは世界トップレベルの動力性能を発揮します。

低いノーズから A ピラー、そして C ピラーを経てリアエンドに至る一本の線でつながったワンモーションのクリーンなシルエットが Kode 0 のスタイリングテーマです。極めてシンプルなイメージのフロントエンドは、左右の A ピラーに繋がるカーボンフェンダーに高輝度 LED ヘッドライトを溶け込ませ、リトラクタブルヘッドライト全盛期を連想させるスーパースポーツのフロントエンドを形成しています。また、ブレーキクーリング・エアダクトが支えるノーズウィングにより、ノーズからアンダーボディへの整流を行い充分なダウンフォースを確保しています。リアエンドはショートオーバーハングのスタイルをさらに強調する、短く切り落とされたシャープなイメージを特徴とし、スリムな形状の LED リアライトがハイデックススタイルをより強調します。

[Related sites]

Official Site: <https://www.kenokuyamadesign.com/>

Kode 0 Special Site: https://www.kenokuyamadesign.com/oneoff/press/kode0_2024/

[Down Load Link]



-CONTACT-
Ken Okuyama CARS
Mail address: cars@kenokuyama.com
TEL: +81 3 6447 5250
(Miho Hoshimoto /Advertising cooperation :EKKO PROJECT)



奥山 清行
 工業デザイナー / KEN OKUYAMA DESIGN 代表
 1959年 山形市生まれ。

ゼネラルモーターズ社(米)チーフデザイナー、ボルシェ社(独)、シニアデザイナー、ピニンファリーナ社(伊)デザインディレクター、アートセンターカレッジオブデザイン(米)工業デザイン学部長を歴任。フェラーリ・エンツォ、マセラティ・クアトロポルテなどの自動車やドゥカティなどのオートバイ、鉄道、船舶、建築、ロボット、テーマパーク等数多くのデザインを手がける。2007年よりKEN OKUYAMA DESIGN 代表として、山形・東京・ロサンゼルスを拠点に、企業コンサルティング業務のほかKEN OKUYAMAブランドで自動車・インテリアプロダクト・眼鏡の開発から販売までを行う。秋田新幹線、北陸新幹線、トランススイート四季島、ヤンマー全製品、眼鏡と活動範囲を広げている。金沢美術工芸大学名誉客員教授、アートセンターカレッジオブデザイン客員教授。

『フェラーリと鉄瓶』(PHP 出版社)、『伝統の逆襲』(祥伝社)、『人生を決めた15分 創造1/10000』(KEN OKUYAMA DESIGN)、ビジネスとしてのデザイン(祥伝社)など著作、最新書籍「奥山清行デザイン全史」が発刊(新潮社、田中誠司著)や、講演活動も行う。

会社プロフィール

会社名: 株式会社 KEN OKUYAMA DESIGN
 本社: 山形県山形市|東京オフィス: 東京都渋谷区神宮前
 資本金: 1億円
 社員数: 45名
 事業内容: デザインコンサルティング(プロダクトデザイン、建築、ブランディング)、ワンオフカー製造

会社沿革

2006年10月	山形県山形市に本社設立
2007年4月	株式会社化
2007年5月	KEN OKUYAMA EYES発表
2008年1月	メゾンエオブジェ(仏)で山形工房新作発表
2008年2月	第三者割当増資を実施
2008年3月	ジュネーブモーターショー(スイス)でk.o7、k.o8発表
2008年4月	ミラノサローネ(伊)で山形工房新作発表
2008年5月	米国子会社設立
2008年9月	東京オフィス開設、5月北青山に移転
2010年4月	山形ファクトリー開設
2010年5月	山形市七日町御殿塚「KEN OKUYAMA CASA」オープン
2012年11月	東京オフィス移転、青山スタジオ開設、ショールームオープン
2013年11月	東京モーターショーでkode9発表
2016年8月	モントレーCar Weekでkode57発表
2017年10月	モントレーCar Weekでkode0発表
2017年8月	東京オフィスを神宮前に移転
2023年5月	イタリア ヴィラデステ Car Week でKode61を発表
2024年4月	東京 神宮前 Ken Okuyama TOKYO オープン